

令和 9 年度

学生募集要項

総 合 型 選 抜

令和 8 年 7 月



◎入学定員・募集人員

学部・学科	入学定員	募 集 人 員							
		総合型 選抜	学校推薦型選抜				一 般 選 抜		
			推薦選抜Ⅰ	推薦選抜Ⅱ	指定校推薦	計	前期 日程	後期 日程	計
システム科学技術学部	240	31	15	24	24	63	120	26	146
機 械 工 学 科	60	10	4	4	6	14	30	6	36
知能メカトロニクス学科	60	8	5	6	6	17	30	5	35
情 報 工 学 科	40	4	2	5	4	11	20	5	25
建築環境システム学科	40	5	2	3	4	9	20	6	26
経営システム工学科	40	4	2	6	4	12	20	4	24
生 物 資 源 科 学 部	150	18	16	13	15	44	68	20	88
応 用 生 物 科 学 科	40	6	2	4	4	10	18	6	24
生 物 生 産 科 学 科	40	4	2	4	4	10	20	6	26
生 物 環 境 科 学 科	30	4	2	3	3	8	14	4	18
アグリビジネス学科	40	4	10*	2	4	16	16	4	20
合 計	390	49	31	37	39	107	188	46	234

* 10人のうち5人は秋田県内の高等学校を卒業見込みの者から選抜し、その他5人は秋田県を含む全国の高等学校等を卒業見込みの者から選抜します。

◎総合型選抜／学校推薦型選抜 入学試験関係日程

	総合型選抜	学校推薦型選抜
出 願 期 間	令和8年9月1日（火） ～7日（月） 午後5時必着	令和8年11月4日（水） ～10日（火） 午後5時必着
試 験 期 日	令和8年9月26日（土）	令和8年11月28日（土）
合 格 者 発 表	令和8年11月2日（月） 午後1時予定	令和8年12月9日（水） 午後1時予定
入 学 手 続 期 限	令和8年11月12日（木） 午後5時必着	令和8年12月18日（金） 午後5時必着

◎一般選抜 入学試験関係日程

	一般選抜（前期日程）	一般選抜（後期日程）
出 願 期 間	令和9年1月25日（月）～2月3日（水） 消印有効	
試 験 期 日	令和9年2月25日（木）	令和9年3月12日（金）
合 格 者 発 表	令和9年3月6日（土） 午後1時予定	令和9年3月20日（土） 午後1時予定
入 学 手 続 期 限	令和9年3月15日（月） 午後5時必着	令和9年3月27日（土） 午後1時必着

※試験日程等が変更となる場合は、本学ホームページでお知らせします。

目 次

I	秋田県立大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）等 …	1
	・システム科学技術学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） ……	2
	・生物資源科学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） ……	3
II	総合型選抜	
1	出願資格 ……	4
2	障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について ……	4
3	出願期間および出願方法等 ……	4
4	併願上の注意 ……	6
5	選抜方法 ……	6
6	合格者発表 ……	9
7	入学手続・初年度納付金 ……	9
8	授業料の減免、奨学金、特待生制度、後援会、学生寮等について ……	10
9	入学試験成績の開示 ……	13
10	入学前の指導 ……	14
11	個人情報の取扱いについて ……	14
12	試験場案内 ……	15

I 秋田県立大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）等

● 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学では、次のような資質をもつ学生を受け入れる。

1. 高等学校等で修得すべき基礎学力を身につけていること
2. 明確な目標をもち、実現に向け思考し判断して行動し、その成果と課題を的確に表現する力を身につけていること
3. 旺盛な知的好奇心をもって主体的に行動し、多様な人々と協働して学び続ける力をもっていること

● 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学では、卒業認定・学位授与（ディプロマ・ポリシー）の方針に掲げる人材を養成するため、教育課程編成・実施の方針を次のとおりとする。

【順次性・体系性を重視したクサビ型カリキュラム】

専門の知識・技術およびそれらを活用する力と、グローバルな視点、幅広い教養と基礎的能力を育成するために、教養科目と専門教育科目の体系的な教育課程を編成する。その際、1年次から専門教育科目を配置するとともに、3・4年次においても教養科目が履修できるクサビ型カリキュラムを採用する。

【多様な教育方法による資質・能力の育成】

実践的な知識・技術、問題を発見し解決する力と創造力を育成するため、演習・実験・実習を重視した教育課程を編成するとともに、卒業研究を実施する。また、社会で必要となる協調性・責任感や生涯学習能力を育成するため、少人数による能動的な学修および多様な教育方法を組み合わせた授業を行う。

【単位制度の実質化と厳格な学修成果の評価】

登録単位数の上限設定を通して十分な学修時間を確保するとともに、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に対応した到達目標と、厳格な評価基準に基づいた成績評価を行う。

● 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学は、現代社会が直面する諸問題を解決することを目指して、以下の能力を身につけ、卒業に必要な単位を修得した学生に学位を授与する。

【知識・理解・技術】

1. 各専門分野の知識・技術を習得し、活用する力を身につけている

【教養・基礎的能力】

2. 幅広い教養と、外国語能力、情報活用能力、コミュニケーション能力などの基礎的能力を身につけている

【態度・志向性】

3. 多様な価値観を有する人々と倫理観・責任感をもって協働することができる
4. 時代の変化に主体的に対応するため継続的に学び、自律的に行動することができる

【問題発見・解決能力】

5. 専門の知識・技術および基礎的能力を統合し活用して、問題を発見し解決する能力を身につけている

【グローバル・創造的思考力】

6. 地域的・国際的視点をあわせもち、また、新たな価値を創造する力を身につけている

※ このページの記載内容は全学のもので、学部、学科の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）については2・3ページで確認してください。また、学部、学科の詳細な教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）および卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）については本学ホームページを参照してください。

※ 本学には、成績優秀者を対象に奨学金を給付する特待生制度があります。その内の「入学生特待生」は、大学入学共通テストの結果が認定要件となっています。詳細については、10ページを参照してください。

システム科学技術学部 入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

システム科学技術学部では、各教育課程における専門技術とそれらに関連する知識を修得し、システム思考^{※注}により、時代の変化に応じた問題解決能力とものづくりの場への適用が可能な人材の育成を目指している。そのため、以下の資質をもつ人材を受け入れる。

1. 高等学校等で修得すべき基礎学力を身につけていること
2. 明確な目標とその実現のための意欲と思考力を身につけていること
3. 旺盛な知的好奇心をもっていること
4. 必要なコミュニケーション能力を身につけていること

※注）システム思考とは、分野ごとに高度に専門化・細分化してきたこれまでの工学に欠けていた「統合」の観点を取り入れて、専門技術の合理的調和を図る考え方をいう。

【求める学生像】

各学科では、大学および学部の「入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」で示した資質に加え、次のような資質をもつ人を求めている。

機 械 工 学 科	① 機械工学を理解するのに必要な数学と物理学の基礎学力を有する人 ② ものづくりに興味を持ち、仲間と協力して問題解決に取り組める人
知能メカトロニクス学科	① 数学と物理学の基礎学力を有し、ものづくりに興味のある人 ② メカトロニクスの専門知識を学ぶ意欲があり、仲間と協力できる人
情 報 工 学 科	① 数学と物理学の基礎学力を有し、自ら好奇心をもって新しいことに取り組める人 ② 情報工学に関心をもち、新しい技術やシステムを創造して社会に貢献する熱意を有する人 ③ 自分の意見を明確に表現し、仲間と協力して問題解決に取り組める人
建築環境システム学科	① 基礎学力と科学に関する総合的な基礎知識を有する人 ② 建築、都市、環境に関する知的好奇心にあふれ、積極的に目標に向かって努力できる人
経営システム工学科	① 経営工学を理解するのに必要な数学および科学全般の基礎学力を有する人 ② 社会環境に関する広い視野を身につけ、社会に貢献する意欲を有する人 ③ リーダーにふさわしい想像力、積極性、協調性を有する人

【高等学校段階での修得が望ましい教科と内容】

理 科	物理基礎、化学基礎に加え、少なくとも物理または化学のいずれかを履修していることが望ましい。特に、機械工学科、知能メカトロニクス学科、情報工学科、建築環境システム学科の4学科では、物理を履修していることが望ましい。
数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学Cに加え、数学Ⅲを履修していることが望ましい。
英 語	平易な英文を辞書なしで読み進められる語彙力・文法力を有していることが望ましい。
その他	他の教科・科目については、コミュニケーションのために十分な国語力と、技術者として社会の持続的発展に資するための地理、歴史、公民に関する基礎的レベルの知識を有していることが望ましい。

【入学受入れの基本方針】

プレゼンテーションにより科学や工学に関連する分野の課題解決に取り組む意欲、表現力、主体性、協働力を評価する。また、面接（口頭試問を含む。）により本学での修学目標を確認するとともに、学びに対する関心・意欲、思考力・判断力、協働力、基礎学力などを評価する。

生物資源科学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

生物資源科学部では、生物資源に関する先端科学や技術、考え方を修得し、的確なコミュニケーション能力を身につけて、問題を発見し解決するために考え行動できる人材の育成を目指す。そのため、以下の資質をもつ人材を受け入れる。

1. 高等学校等で修得すべき基礎学力を身につけていること
2. 明確な目標とその実現のための意欲と思考力を身につけていること
3. 旺盛な知的好奇心をもっていること
4. 必要なコミュニケーション能力を身につけていること

【求める学生像】

各学科では、大学および学部の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」で示した資質に加え、次のような資質をもつ人を求めている。

応 用 生 物 科 学 科	① 生命科学や食品・醸造の専門知識と技術を学ぶために必要な生物と化学の基礎学力を有する人 ② 専門分野の知識や能力を高めることに対して、積極的かつ意欲的に取り組むことができる人
生 物 生 産 科 学 科	① 植物を中心とする生命現象を理解するのに必要な生物と化学の基礎学力を有する人 ② 植物とその生産に関心があり、専門的知識を身につける意欲を有する人
生 物 環 境 科 学 科	① 身の回りの自然環境に関心を持ち、フィールドの中で学び、行動することができる人 ② 自然科学に関する基礎知識を持ち、自然への深い関心と探究心を有する人 ③ 自然と人間が共存できる新たな技術開発や社会システムの構築に意欲を有する人
アグリビジネス学科	① 生産から消費までの知識・技術やアグリビジネスに対して高い学修意欲と知的探究心を有する人 ② 次代の農業・農村および食産業の発展を図ることに熱意を有する人

【高等学校段階での修得が望ましい教科と内容】

理 科	生物基礎および化学基礎の知識を有していること。加えて、少なくとも生物または化学のいずれかを履修していることが望ましい。
英 語	平易な英文を辞書なしで読み進められる語彙力・文法力に加え、身近な情報や自分の意見を英語で伝えられる能力を有していることが望ましい。
数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学Cを履修していることが望ましい。
その他	他の教科・科目については基礎的レベルの知識を有していることが望ましい。

【入学者選抜の基本方針】

プレゼンテーションにより生物・農業・環境に関連する分野の課題解決に取り組む意欲や、表現力、主体性、協働力を評価し、総合問題により思考力・判断力、基礎学力を評価する。また、面接により本学での修学目標を確認するとともに、学びに対する関心・意欲、思考力・判断力、協働力などを評価する。

Ⅱ 総合型選抜

1 出願資格

次の①から③のすべてに該当する者

- ① 秋田県内の高等学校を令和9年3月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者も含む。）
- ② 高等学校在学中に特色ある活動を主体的に行った者
- ③ 合格した場合には入学を確約できる者

2 障害等のある入学志願者の合理的配慮に関する事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）や疾病・負傷等により、受験上および修学上において特別の配慮を希望する場合は、出願に先立ちできるだけ早く事前相談してください。その際、本学ホームページに掲載している指定の様式に必要事項を記入の上、医師の診断書等を添えて、以下の期限までに後記「出願書類の提出先」へ提出してください。相談を受けて、志願者の普段の様子をよく知る者（担任の先生など）に本学から連絡することがあります。また、事前相談で希望する配慮が必ずしも提供されるとは限りません。

期限後に不慮の事故等により、受験上および修学上の配慮が必要となった場合も、速やかに相談してください。

なお、事前相談したことにより、本学への出願が義務づけられるものではありません。

事前相談期限	令和8年8月21日（金）午後5時まで
--------	--------------------

3 出願期間および出願方法等

（1）出願期間

令和8年9月1日（火）午前9時から9月7日（月）午後5時必着

（2）出願方法

- ① 本選抜はインターネット出願となります。本学ホームページからインターネット出願ページに進み出願手続を行ってください。
- ② 本選抜には、郵送または持参による提出が必要な書類（後記「出願書類」）があり、その提出までが出願手続となります。書類の提出は出願期間最終日の午後5時必着とします。なお、持参の場合の受付時間は午前9時から午後5時までとします（土・日を除く。）

（3）入学検定料

17,000円

インターネット出願ページの指示に従い、出願期間内に納付してください。

※ 入学検定料の納付時には別途手数料がかかります。手数料の金額は、インターネット出願ページの納付手続画面に表示されます。

（4）出願書類の提出先

〒010-0195 秋田県秋田市下新城下野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

T E L 018-872-1535 F A X 018-872-1670

(5) 出願書類

次の書類をすべて提出してください。

番号	書 類 名	摘 要
1	入学志願票	インターネット出願ページから入学志願票を印刷して提出してください。
2	志望理由書	本学所定の様式を使用して800字程度で志望理由を記入し、提出してください。
3	特色ある活動に関する活動報告書	本学所定の様式を使用して記入し、提出してください。
4	調査書	文部科学省所定の様式により高等学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 注) 調査書は、発行日が令和8年4月1日以降のものを提出してください。

(6) 出願上の注意事項

- ① 出願書類に次のような不備のあるものは、受理しないことがあるので、十分確認してください。
ア 出願書類がそろっていないもの
イ 記入漏れ、誤記のあるもの
- ② 出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号およびメールアドレスに変更があった場合は、前記「出願書類の提出先」まで連絡してください。
- ③ 受験票は、出願書類受理後令和8年9月16日(水)午前9時からインターネット出願ページにてダウンロードできるようになりますので印刷してください。
- ④ 入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- ⑤ 一度受理した出願書類は、返却しません。

(7) 入学検定料の返還請求について

既納の入学検定料は、次の場合に限り返還します。

返 還 事 由	返 還 額 ※
ア 入学検定料を納付したが、出願しなかった場合	17,000円
イ 入学検定料を誤って二重に納付した場合	17,000円

※実際の返還額は振込手数料を差し引いた額となります。

【返還請求方法】

本学ホームページから「入学検定料返還請求書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、次の送付先へ請求してください。

送付先：〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム (秋田キャンパス)

送付期限：令和9年2月19日(金) 午後5時必着

注) 封筒には「入学検定料返還請求書在中」と朱書きしてください。

4 併願上の注意

- ① 本学の総合型選抜に合格した者は、本学および他の国公立大学の前期・中期・後期日程の試験の合格者とはなりません。
- ② 総合型選抜の合格者は、出願資格に基づき、原則として入学辞退を認めません。ただし、合格者に特別の事情があり、令和9年2月17日（水）までに秋田県立大学長あてに「入学辞退届」を提出した場合に限り、入学辞退を認めます。なお、入学辞退届を提出した者は、本学および他の国公立大学の前期・中期・後期日程の試験の合格者となることができます。

5 選抜方法

システム科学技術学部

プレゼンテーションおよび面接の結果を総合して判定します。

生物資源科学部

プレゼンテーション、総合問題および面接の結果を総合して判定します。

（１）試験期日、時間割

- ① 試験期日 令和8年9月26日（土）
- ② 時間割

学 部	試 験 項 目	試験開始時刻
システム科学技術学部	1. プレゼンテーション 2. 面接（口頭試問を含む。）	午前9時30分
生物資源科学部	1. プレゼンテーション 2. 総合問題（60分） 3. 面接	

※ 出願者数により試験開始時刻、時間割が変更となる場合があります。その場合は別途通知します。

（２）試験場

秋田県立大学 秋田キャンパス（秋田市）

(3) プレゼンテーションの内容（プレゼンテーション10分＋質疑応答10分）

総合型選抜では、特色ある活動に関する活動報告書の内容についてプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションは本学のパソコンで、PDF ファイルを使用して行うものとします。PDF ファイルは、以下の提出期限までに指定の方法により提出してください。提出された PDF ファイルは資料として試験監督員に配布します。PDF ファイルの提出の方法は、出願期間終了後、すみやかに出願者に通知します。なお、一度提出した PDF ファイルは、差し替えることはできません。

また、その他に使用を希望するもの※がある場合は、制作物等使用申出期限までに本学ホームページのインターネット出願ページにある特設フォームから申し出てください。内容を検討した上で本学が許可したものに限り使用を認めます。使用を許可された場合は以下の提出期限までに提出してください。

- ※ 制作物の実物、制作物の動画、開発したアプリを動作させるためのパソコン、農作物など。
- ※ 試験の進行に影響のある物の持ち込み・実演（臭気の強い物品の使用、飲食を伴う実演、その他試験室内を汚損する可能性のあるもの等）や、PDF ファイルに掲載することで足りうるものは許可しません。
- ※ 自身の発表原稿メモを持ち込む場合は、A 4 用紙 1 枚に限り持ち込み可能とします。その場合、使用を希望するものとしての申出は不要です。

	PDF ファイル (プレゼンテーションデータ)	その他に使用を希望するもの (制作物の実物、動画データ 等)
提出可否	必須	任意
使用申出期限	—	令和 8 年 9 月 1 0 日 (木)
提出期限	令和 8 年 9 月 1 7 日 (木) 午後 5 時まで	原則、令和 8 年 9 月 1 7 日 (木) 午後 5 時まで ※使用申出受付後、使用するものの内容に応じて決定・指示します。

注) その他に使用を希望するものの使用可否の回答には時間を要する場合があります。
使用許可が下りていない場合でも、PDF ファイルの提出期限は延長しませんので注意してください。

(4) 面接の内容

① システム科学技術学部

面接では、志望理由書等の内容を踏まえ、学部・学科に対する興味関心、大学での学修や将来への意欲などを評価します。また、理科、数学について口頭試問を行います。口頭試問の内容は、理科は物理基礎（経営システム工学科は物理基礎または化学基礎）、数学は数学Ⅰ、数学Ⅱとします。

② 生物資源科学部

面接では、志望理由書等の内容を踏まえ、学部・学科に対する興味関心、大学での学修や将来への意欲などを評価します。

(5) 総合問題の内容（60分） ※生物資源科学部のみ

総合問題では、データを読み取り、そこから論理的に考える力や、提案する力、生物基礎と化学基礎の基礎学力を評価します。

(6) 配 点

システム科学技術学部

選抜方法	面接	プレゼンテーション	計
配点	400	600	1,000

生物資源科学部

選抜方法	総合問題	面接	プレゼンテーション	計
配点	250	250	500	1,000

(7) 受験上の注意事項

- ① 当日は、受験票、黒鉛筆（シャープペンシル可）および消しゴムを必ず持参してください。
- ② 当日に受験票を忘れた者は、速やかに受付の係員に申し出て仮受験票の交付を受けてください。また、受験票は、入学手続の際に必要となるので、試験後も大切に保管してください。
- ③ 受験者は、プレゼンテーション開始30分前までに指定された控室に入室し、着席してください。また、面接および総合問題試験の際は、指定時刻までに決められた控室または試験室に入室し、着席してください。
- ④ 面接およびプレゼンテーション開始時に不在であった場合には、欠席したものとして扱う場合があります。
- ⑤ 総合問題試験開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間は延長しません。
- ⑥ 原則として、途中退室は認めません。
- ⑦ 面接、プレゼンテーションおよび生物資源科学部ではそれらに加え総合問題試験のいずれか一つでも受験しなかった場合は、入学者選抜の対象から除きます。
- ⑧ 受験票は、総合問題試験中には、試験監督員に明示できるよう机の上に置いてください。
- ⑨ 総合問題試験中に机の上に置けるものは、受験票、黒鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（時計機能のみのもの。ウェアラブル端末や時計以外の機能の有無が判別しづらいものも使用できません。）、眼鏡、ハンカチ、目薬およびティッシュペーパー（袋から取り出したもの）に限ります。これら以外のものを使用した場合は、不正行為となることがあります。
- ⑩ 試験時間中に使用を認められていない電子機器類を使用すると不正行為となります。身につけているだけでも不正行為となることがありますので、事前に必ず電源を切ってカバン等にしまっておいてください。
- ⑪ 不正行為が認められた場合には、その時点で受験を取り止めさせます。その場合は、以後の科目の受験はできなくなるとともに、受験した科目の成績を無効とします。また、必要に応じて追加的な確認を行ったり、警察に被害届を提出する場合があります。
- ⑫ 試験の進行は、試験監督員の時計により行います。試験会場に設置された時計は使用しないので注意してください。また、時間の管理は自身の時計により行ってください。
- ⑬ 当日は、各自昼食を持参してください。
- ⑭ その他の注意事項については、必要に応じて別途通知します。

6 合格者発表

(1) 発表日時

令和8年11月2日(月) 午後1時予定

(2) 発表方法

インターネット合否照会ページ上で、合否の結果を個別に発表します。電話による問い合わせには一切応じません。

合格者への合格通知書および入学手続書類等の郵送は行いません。合格者は、インターネット入学手続ページから合格通知書および入学手続資料をダウンロードしてください。

インターネット合否照会ページおよびインターネット入学手続ページには本学ホームページから進んでください。

7 入学手続・初年度納付金

(1) 入学手続

①入学手続期限

令和8年11月12日(木) 午後5時必着

②入学手続方法

合格発表とともに詳細を通知します。インターネット入学手続ページから入学手続資料をダウンロードし、手続してください。

(2) 初年度納付金

① 入学料

ア 金 額	秋田県内の者 282,000円
	上記以外の者 423,000円

注)「秋田県内の者」とは、次のいずれかに該当する者です。

一 入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者

二 配偶者または1親等の親族が入学の日の1年前から引き続き秋田県内に住所を有する者

三 前2号に掲げる者のほか、これらの者に準ずる者として理事長が認めた者

イ 納付期限 令和8年11月12日(木)(入学手続時に納付)

ウ 納付方法 インターネット入学手続ページの指示に従い、入学手続の際に納付してください。

高等教育の修学支援新制度の支援対象となっている場合は、入学手続の際に入学料を納付し、入学後に返還となります。納付期限の延長はできないので注意してください。

なお、高等教育の修学支援新制度の支援対象となっている場合や本学が認める特別な理由がある場合を除き、納付された入学料は返還しません。

② 授業料

ア 金 額 年額 535,800円

イ 納付方法 前期(納付期限5月31日)、後期(同10月31日)の2回に分けて納付してください。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

8 授業料の減免、奨学金、特待生制度、後援会、学生寮等について

(1) 授業料の減免

家庭の経済的事情または不測の災害などのため、授業料の納付が著しく困難な学生に対して高等教育の修学支援新制度に基づく授業料の減免制度があります。

(2) 奨学金

- ① 日本学生支援機構の奨学金や高等教育の修学支援新制度についての詳細は、同機構のホームページを参照してください。
- ② この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

(3) 特待生制度

本学には、成績優秀者に対して奨学金を給付する次の二つの特待生制度があります。

① 入学生特待生

大学入学共通テストで本学の定める教科・科目を受験し、以下の要件を満たした場合、年間授業料相当額（535,800円）を4年間、奨学金として給付します。ただし、学業成績の結果により2年次以降の奨学金の給付が停止される場合があります。

（認定要件）

一般選抜、総合型選抜および学校推薦型選抜により選抜された入学者で、大学入学共通テストの得点率*が70%以上である者

※ 11ページの本学の一般選抜で各学部が定める6教科8科目の得点率です。ただし、総合型選抜および学校推薦型選抜により選抜された入学者の場合は、成績を確認できる書類を提出した者に限ります。

※ 総合型選抜および学校推薦型選抜により選抜された入学者で、入学生特待生の選考対象になることを希望する者は、次のページの＜本学の定める大学入学共通テストの教科・科目＞の成績を確認できる書類の提出が必須となります。大学入学共通テストの出願時に成績閲覧手数料を検定料と併せて払い込んでください。なお、入学後は大学入学共通テスト出願サイトのマイページから成績を確認できる書類を印刷して本学の事務局アドミッション担当に提出してください。

< 本学の定める大学入学共通テストの教科・科目、配点 >

システム科学技術学部				
教科	グループ	科目		配点
国語		「国語」		100
地理歴史		「地理総合、地理探究」 「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」 「公共、倫理」 「公共、政治・経済」 「地理総合/歴史総合/公共」	左記の6科目から1科目選択	100
公民				
数 学	①	「数学Ⅰ、数学A」		100
	②	「数学Ⅱ、数学B、数学C」		100
理 科		「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	左記の5科目から2科目選択	200 (100×2)
外国語		「英語（リスニングを含む。）」		リーディング 100
				リスニング 100
情報		「情報Ⅰ」		100

生物資源科学部				
教科	グループ	科目		配点
国語		「国語」		100
地理歴史		「地理総合、地理探究」 「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」 「公共、倫理」 「公共、政治・経済」 「地理総合/歴史総合/公共」	左記の6科目から1科目選択	100
公民				
数 学	①	「数学Ⅰ、数学A」		100
	②	「数学Ⅱ、数学B、数学C」		100
理 科		「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	左記の5科目から2科目選択	200 (100×2)
外国語		「英語（リスニングを含む。）」		リーディング 50
				リスニング 50
情報		「情報Ⅰ」		100

【両学部共通事項】

- ・「英語」について大学入試センターがリスニングの免除を認めた場合は、リーディングの配点をシステム科学技術学部では200点、生物資源科学部では、100点とします。
- ・「地理歴史」「公民」において2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を利用します。
- ・「理科」において「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」を選択した者は、選択解答した問題の出題範囲と同一名称を含む科目を選択することができます。

② 在学生特待生

本学在学生（入学生特待生および1年生を除く。）を対象とし、前年度の通期学業成績が優秀である者の中から本学が選考し認定した者を「在学生特待生」と称し、半期授業料に相当する奨学金を給付します。

（４）後援会

本学には、学生の各種活動を経済的に支援するための後援会があります。

後援会は、学生の父母・保証人を会員として組織している団体です。主な活動としては、後援会加入学生を対象として「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」および「学研災付帯賠償責任保険」に一括加入しているほか、サークル活動や就職対策講座等への助成をしています。

後援会費は4年間で50,000円です。なお、後援会への入会については、入学手続資料として通知しますので、趣旨をご理解の上、入学手続と併せ、入会の手続をお願いします。

（５）学生寮

① 概要

本学には、次のとおり生物資源科学部・研究科の学生を主な対象とした学生寮があります。

寮 名	清新寮
収 容 人 数	男子120名 女子120名
施 設 概 要	鉄筋コンクリート7階建 男子2～4階 女子5～7階
居 室 形 態	完全個室（風呂、トイレ共用） フローリング6畳、ベッド台・机・クローゼット、冷暖房完備
寮 費	月額50,000円 平日2食、土日祝日3食付 光熱水費含む
所 在 地	秋田県南秋田郡大潟村字南2-2 大潟キャンパス (秋田キャンパスからは30キロメートル程離れています。)

② 通学方法

学生寮と秋田キャンパスとの間で無料シャトルバスを運行しており、授業やサークルなどの都合に合わせて利用することができます。（授業期間1日7往復、長期休暇期間1日2往復程度、いずれも平日のみ）。

シャトルバス以外の通学方法としては、南秋地域広域マイタウンバス（1日5往復程度）とJRを乗り継ぐ方法があります。

③ 入寮について

入寮に関する書類は入学手続資料として通知します。

募集人数については、各選抜区分の定員数により変動し、申請数が募集人数を超えた場合は抽選での選考となります。選考にあたっては、遠方から通学する方や経済的理由により入寮を希望する方を優先して入寮を許可します。入寮を希望する場合は、事前に本学ホームページ「学生寮」を確認の上、不明な点については、後記「学生寮に関する問い合わせ先」まで連絡してください。

【学生寮に関する問い合わせ先】

入寮審査について T E L 018-872-1798 メール seisinryo@akita-pu.ac.jp

寮全般について T E L 0185-45-3600 メール seisinryo@akita-pu.ac.jp

(6) 下宿・アパート

下宿・アパートについては、各キャンパスにおいて大学に寄せられた情報の掲示等を行っています。

(7) ノートパソコンの必携について

本学ではノートパソコンを必携としています。各種授業での活用をはじめ、レポート等の作成、学習支援システム（manaba）の操作、履修登録や成績確認など、日常的な学習活動において幅広く利用しますので、入学までに準備してください。

なお、ノートパソコンの仕様については、改めて本学ホームページ等で周知しますが、すでに所有しているものが仕様に合致している場合は、そちらを用いても構いません。また、経済的理由により購入できない場合は、本学から Windows ノートパソコンを貸与する制度があります。希望者は入学手続後に各キャンパスの教務チームに連絡してください。

9 入学試験成績の開示

当該入学者選抜試験に係る個人情報の開示は、「公立大学法人秋田県立大学入試情報公開規程」に基づき、本人に限って、口頭による簡易開示請求によりその場で閲覧することができます。ただし、合格者が10名に満たない学科については、不合格者のみの開示となるので注意してください。

① 請求の方法

本人が、開示場所に出向いて請求してください。

その際、請求者が本人であることを確認するため、必ず印刷した受験票を持参してください。ただし、やむを得ない事由で開示請求に出向くことができない場合には、開示期間中に⑤に記載の問い合わせ先まで連絡してください。

② 開示する情報

得点（各科目別得点および総得点）

③ 開示する期間

合格者発表の日から2週間 ※受付時間：土・日・祝日を除く午前9時～午後5時

- ④ 開示場所
秋田県立大学 秋田キャンパス事務局
- ⑤ 問い合わせ先
秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）
TEL 018-872-1535

10 入学前の指導

入学手続者に対して課題添削・スクーリング等入学前指導を実施します。科目・日程など詳細については、入学手続者に別途お知らせします。

11 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「公立大学法人秋田県立大学個人情報保護規程」に基づいて取扱います。

- ① 出願にあたって知り得た個人情報は、次の業務を行うために利用します。
 - ・ 入学者選抜
 - ・ 合格者発表
 - ・ 入学手続
 - ・ 次年度以降の学生募集
- ② 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料作成のために利用します。
- ③ 国公立大学の一般選抜における合格者決定業務を円滑に行うため、受験者の氏名および大学入学共通テストの受験番号に合否および入学手続等に関する個人情報を付して、大学入試センターおよび併願先の国公立大学に提供します。
- ④ 出願にあたって知り得た個人情報は、入学者についてのみ次の業務を行うために利用します。
 - ・ 教務関係業務（学籍管理、学修指導等）
 - ・ 学生支援関係業務（奨学金申請等）
 - ・ 授業料徴収業務
- ⑤ 本学に出願した者および保護者は、上記の記載内容に同意したものとみなします。

12 試験場案内

【秋田県立大学 秋田キャンパス】

〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

TEL 018-872-1535 FAX 018-872-1670

- ・秋田空港から車で約1時間
- ・秋田駅から車で約30分
- ・秋田駅から追分駅まで JR で約15分, 追分駅から徒歩で約20分
- ・秋田駅から五城目線、追分線バスを利用してバス停「追分三叉路」まで約40分
- ・バス停「追分三叉路」から徒歩で約15分

《受験生の方へ》

試験当日の所持品チェック表

1	「2027年度秋田県立大学受験票」	
2	黒鉛筆（シャープペンシル可）	
3	消しゴム	
4	鉛筆削り	
5	時計（時計機能のみのもの）	
6	プレゼンテーションに使用するもので、事前に許可を得ているもの	
7	昼食	

出願、受験、その他の問い合わせ先

◎システム科学技術学部・生物資源科学部 共通

〒010-0195

秋田県秋田市下新城野字街道端西241-438

秋田県立大学 アドミッションチーム（秋田キャンパス）

TEL 018-872-1535

FAX 018-872-1670

◎メールアドレス

nyushi-apu@akita-pu.ac.jp

◎ホームページアドレス

<https://www.akita-pu.ac.jp/>

（右記の QR コードからアクセスできます。）

